

島根県松江市で地震保険セミナーを開催

～「地震保険の政府再保険について」～

日本損害保険協会島根損保会（会長：古池 祥蔵・三井住友海上火災保険株式会社 山陰支店 支店長）は、島根県損害保険代理業協会（会長：谷口 正人 氏）と連携して、1月30日（金）に松江市の松江エクセルホテル東急にて（「オープンセミナーin 松江」第1部として）地震保険セミナーを開催し、島根県の損保会社・代理店の関係者をはじめ約40名が参加しました。

開会に際し、島根県損害保険代理業協会 谷口会長から、「本年1月6日に発生した島根県東部を震源とする地震で被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。今回の出来事をきっかけに、島根県での地震保険の理解と普及が進んでいくことを願っております」と挨拶がありました。続いて島根損保会 古池会長から、「島根県東部を震源とする地震が発生したことから、これまで以上に、県民のみなさまの地震保険に対する地震保険に関心が高まっているのではないかでしょうか。日頃から、お客様に接している代理店のみなさまの役割がますます重要になってきていることだと思います」と挨拶がありました。

講演では、日本地震再保険株式会社 常務取締役 高山 知士 氏が「地震保険の政府再保険について～どのように制度の強靭化が確保されているのか～」と題する講演を行いました。高山氏から日本の「地震リスク」と「被害想定」についてわかりやすい地図やグラフを使った説明があり「事前の防災・減災対策を推進しながら被災後の生活・財産を考えることが重要である」こと、地震保険制度の「創設経緯」と「概要」については地震保険付帯率（※）を示し「未加入のお客様への加入促進が必要である」こと、そして「地震保険は、政府が再保険の引き受けを通じてバックアップしている持続可能な安心な制度である」ことなどの説明がありました。※地震保険付帯率とは、火災保険契約に地震保険がセットされている割合。

参加者からは、「再保険の仕組みや目的が良くわかった」、「地震のプレートや予想される被害などについて、説明が分かりやすかった」等の感想が寄せられました。

当支部では、引き続き、地震リスクの理解と地震保険のより一層の普及を推進していきます。



島根県代協・谷口会長の挨拶



島根損保会・古池会長の挨拶



高山氏の講演



会場の様子